

<概要>

- カストロ大統領は、G7 7+中国サミット及び国連総会に出席し、演説を行った。また、国連総会出席中に、グテレス国連事務総長と会合を持ち、ホンジュラス政府が国連に要請している「汚職・無処罰問題対策委員会（CICIH）」設置支援の迅速化等を求めた。
- 米国訪問中のカストロ大統領が、テキサス州マッカレンの非正規移民収容所を訪問し、問題解決のために、米国に4つの領事館を新設すると発表した。

<本文>

1 外交

（1）中国、ドイツなど6カ国の新大使の信任状捧呈

9月7日、大統領府は自身の公式Xポスト（旧ツイッター）で、中国、ドイツ、フランス、コスタリカ、コロンビア、コソボら6カ国の新大使がカストロ大統領に信任状を捧呈したと発信した。

（2）病院建設に係るスペイン融資の拒否

9月13日付エル・エラルド紙によると、12日、ホンジュラス政府は、スペインとの間で既に合意されていた7,500万ユーロの融資を、当初予定されていた3つの病院建設に使用しないと発表した。

（3）カストロ大統領によるG7 7+中国サミット出席

9月18日付国内主要各紙は、カストロ大統領が、レイナ外相やエクトル・セラヤ大統領私設秘書官を伴い、キューバで開催されたG7 7+中国サミットに出席した旨報じた。

（4）カストロ大統領とグテレス国連事務総長との会合

9月19日付国内主要各紙は、国連総会に出席のためニューヨークを訪問中のカストロ大統領が、グテレス国連事務総長と会合を持ち、ホンジュラス政府が国連に要請している「汚職・無処罰問題対策委員会（CICIH）」設置支援の迅速化等を求めたと報じた。

（5）カストロ大統領の国連総会での一般討論演説

9月20日、国連総会に出席したカストロ大統領は、政権に対する各界からのボイコット、過去12年間続いた麻薬独裁政権、ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）の議長国就任、検事総長選挙などのテーマで約19分間のスピーチをおこなった。

(6) カストロ大統領の米国非正規移民収容所訪問

9月23日、米国訪問中のカストロ大統領が、テキサス州マッカレン (MacAllen) の非正規移民収容所を訪問し、問題解決のために、米国に4つの領事館を新設すると発表した。

(7) 国会議員団の外遊

9月28日及び29日付当地各紙は、27日、ルイス・レドンド国会議長が同議長をヘッドする議員団が米、露、中を訪問する旨発表するとともに、28日夜、同議員団計14名が既に露モスクワに向けて出発した旨、報じた。

2 内政・経済

(1) 来年度予算政府案の国会提出

9月13日付エル・エラルド紙によると、来年度予算政府案は、今年度比3.6%増の4,065億レムピーラ (約162.6億ドル) である。なお、来年度予算案は、国会で審議が行われ12月末までに採択される見込み。

(2) 政府によるホンジュラス民間企業会に対する告発

9月13日から14日にかけて国内メディアは、マルロン・オチョア歳入庁長官が、ホンジュラス民間企業会 (COHEP) の主要会員になっている経営者らを、政府に働きかけて違法に免税事業にするよう画策したなどとして4件について検察庁に告発したと報道した。なお、COHEPのグスタボ・ソロールサーノ法律顧問は、訴状には確固たる証拠がなく、現政権の高官による無責任な発言であると批判した。

(3) 国際通貨基金 (IMF) 及び米州開発銀行 (IDB) による対ホンジュラス支援

9月22日付「ラ・プレッサ」紙によると、IMFがホンジュラスとの国別サーベイランス (協定4条協議) を終了し、総額8.22億ドルの支援に合意した。また、IDBは、首都における飲料水と衛生サービスの向上のため、5610万ドルの支援を発表した。

(4) 孔子学院の設立

9月28日付当地「ラ・トリブナ」紙は、ホンジュラス国立自治大学 (UNAH) が中国講座開設のため中国大使館との間で覚書を交換した旨報じた。また、25日付政府広報週刊紙「民衆の力 (Poder Popular)」は、同大学で中国孔子学院が開設される見込みである旨発信した。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2023年		
	8月	7月	6月
インフレ率（前年同月比）	5.71	5.15	5.60
貿易収支（百万ドル）	—	—	▲2,547.3
輸出（百万ドル）	—	—	6,097.9
輸入（百万ドル）	—	—	8,645.2
外貨準備高（百万ドル）	7,707.0	7,798.9	7,913.8
外国からの送金（百万ドル）	—	—	4,395.6
為替レート（対ドル月平均）	24.71	24.71	24.72

（出典：ホンジュラス中央銀行） ※貿易収支、輸出入、外国送金は、四半期毎に発表

（了）